



## ユーザーズマニュアル

緊急気象チャンネル受信/高速コピー1チャンネル/VOX/マルチバンド送信および  
50～600MHz受信/リモートキル/リバイブ/TPYE-Cおよび充電器ベース充電/200  
チャンネル



This package is  
100% recyclable

## FCC の警告

### ■ FCC 準拠声明:

このデバイスは FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があり、かつ

(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信するあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

**注記:** この機器はテストされ、FCC 規則のパート 15 に従ってクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合 (装置の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます)、ユーザーは次の 1 つまたは複数の手段によって干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変更します。
- 機器と受信機間の距離を広げます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

このデバイスは、管理されていない環境に対して定められた FCC 放射線被ばく制限に準拠しています。アンテナに明らかな損傷がある場合は、このデバイスを使用しないでください。

この送信機を顔から約 25 mm 離し、アンテナを上に向けて通常どおりに話します。他のアクセサリは制限に準拠していない可能性があるため、身体に装着する構成には付属のベルト クリップを使用してください。

**警告:** 携帯無線電話サービス信号を受信するためにこのデバイスを改造することは、FCC 規則および連邦法に基づいて禁止されています。

### ■ ライセンス情報

米国で当社の無線機を使用する場合は、FCC の規則と規制が適用されます。当社によって明示的に承認されていない変更または修正は、この無線機を操作するために FCC によって付与されたユーザー権限を無効にする可能性があるため、行わないでください。FCC 要件に準拠するには、送信機の調整は、私有地の移動および固定サービスで送信機のメンテナンスおよび修理を行う技術的資格を持った者として認定された者によってのみ、またはその監督下で行われるべきであり、これらのサービスのユーザーを代表する組織によって認定される必要があります。この無線機の FCC 機器認可によって許可されていない送信機コンポーネント (水晶、半導体など) を交換すると、FCC 規則に違反する可能性があります。

**注記:** このラジオを配布予定の国外で使用することは政府規制の対象となり、禁止される場合があります。

**重要:** コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、このデバイスを操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

無線機は、割り当てられた周波数で規制された信号を送信するように設定されています。これらの制限を超えるように無線機内の設定を変更または調整することは法律違反です。無線機の調整は資格のある技術者が行う必要があります。

### CE 警告:

双方向無線機は温度 0 ~ 40°C の環境で使用してください。そうしないと、双方向無線機が損傷する可能性があります。2000m 以下でも動作可能です。

ここに、当社は、無線機器タイプの双方向無線が指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。この装置では、EN62209-2:2010 に準拠した位置に設定された装置で頭部 SAR と胴体 SAR を実行し、ファントムから 25mm の装置でフェイスアップ SAR を実行し、装置 0mm の位置で胴体 SAR を実行しました。ファントムから。ボディ SAR は、ヘッドセットとベルトクリップが取り付けられている場合と取り付けられていない場合でも実行されました。

### 使用前の注意事項

優れたデザインと最新の先進技術を盛り込んだラジオです。次のアドバイスは、保証条項の義務を果たすのに役立ちます。また、このポータブル ラジオを安全に操作する方法に関する重要な情報も提供します。

- ◆ ラジオや付属品はお子様の手の届かないところに置いてください。
- ◆ メンテナンスは専門の技術者のみが行うことができます。
- ◆ 無線機を破損しないように、標準のバッテリーパックと充電器を使用してください。
- ◆ 通信距離が短くならないよう、標準アンテナをご使用ください。
- ◆ ラジオを長時間日光にさらしたり、熱の近くに置かないでください。
- ◆ 極端なほこりや湿気の多い環境に置かないでください。
- ◆ 強力な化学製品、洗浄剤、または強力な洗浄剤を使用してラジオを掃除しないでください。

- ◆ アンテナが設置されていない場合は送信しないでください。
- ◆ 異臭やスモッグを感じた場合は、すぐにラジオを切ってください。そして、ラジオからバッテリーを取り外してから、担当者に連絡してください。

### 充電に関する注意事項:

- ◆ バッテリーパックは出荷時には充電されていません。使用前に充電してください。
- ◆ 購入後の最初の充電、または長期保管 (2 か月以上) では、バッテリーパックの最大容量または通常の充電は行われません。充電と放電を 2 ~ 3 回繰り返した後にのみ可能になります。
- ◆ 充電する前にラジオの電源を切ってください。充電中はラジオを使用しないでください。バッテリーパックの正常な充電に影響を与え、危険な事故を引き起こす可能性があります。
- ◆ バッテリーパックが完全に充電されたら、充電器ベースから取り出してください。バッテリーが完全になくなる前に再充電しないでください。そうでないと、バッテリーのメモリー効果が破壊されてしまいます。
- ◆ 正しい充電方法を使用しても、バッテリーの容量が増加しなかったり、使用時間が長くなったりした場合は、バッテリーの寿命が近づいていることを意味します。新しいバッテリーパックに交換してください。
- ◆ 純正の工場出荷時のバッテリーパックと充電器を採用してください。これらは最寄りの代理店で入手できます。
- ◆ 純正以外の工場出荷時のバッテリーパックと付属品について質問がある場合は、それらを使用しないでください。あるいは危険な事故の原因となります。

### 注記:

1. 充電には純正の工場出荷時の充電器を使用し、本体の Type-C 充電ポートは緊急充電のみに使用します。
2. 環境保護のため、バッテリーパックはリサイクルしてください。
3. Type-C 充電を使用する場合はバッテリーを取り外さないでください。
4. バッテリーパックからケースを取り外そうとしないでください。

## 主な特徴

- 200チャンネル
- クロスバンドインターコム
- 1750HZ コールトーン
- オンサイトプログラム
- 緊急警報
- FMラジオ
- 10グループスクランブラー
- マルチスキャン
- CTCSS/DCS
- リモートキル/復活
- テンキーロック
- ジャックライト
- PCプログラマブル
- ビジョーチャンネルロック
- VOX
- デュアルウォッチ動作
- タイムアウトタイマー
- リセット
- 大型液晶ディスプレイ
- 音声プロンプト
- リマインダースイッチ
- チャンネルNo./チャンネル周波数/チャンネル名のマルチ表示
- H (高)、M (中)、L (低) 出力電力選択
- マルチバンド送信 & 50~600MHz受信
- 受信/送信コードを個別に設定
- 大容量バッテリー\長い待機時間
- 高速コピー1チャンネル  
(周波数メーターとして機能 (双方向無線およびその他の一部のデバイス用) )
- 10の緊急気象チャンネル
- パワーオンパスワード保護
- AM/FM航空帯域受信
- 周波数反転機能
- Type-C および充電器ベースの充電
- 広帯域/狭帯域幅
- オフセット周波数方向 Set1
- 無線無線レプリケーション
- スケルチレベル調整可能
- 中継器転送確認機能
- 周波数とチャンネルのモードシフト
- オフセット周波数の設定
- チャンネルのスキャンと追加
- DTMF通話
- DTMF ANI
- DTMF選択通話 (単独通話、グループ通話、全員通話)
- バックライト自動オフ時間選択可能
- シグナリング自動検索
- マルチステップ周波数
- ワンキー通話チャネル

## コンテンツ

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1.付属品                        | 01 |
| 2.無線図                        | 02 |
| 3.LCDディスプレイ                  | 03 |
| 4.ボタン                        | 04 |
| 1.PTTボタン (送信ボタン)             | 04 |
| 2.プログラマブルキーとその機能             | 04 |
| 3.キーパッドボタン                   | 04 |
| 5.メニュー情報                     | 06 |
| 6.共通操作の紹介                    | 09 |
| 6.1.パワーオンパスワード保護             | 09 |
| 6.2.メインチャンネルの切り替え            | 09 |
| 6.3.デュアルバンドシングルウォッチ/デュアルウォッチ | 09 |
| 6.4.周波数/チャンネルモードスイッチ         | 09 |
| 6.5.クロスバンド受信/送信              | 10 |
| 6.6.チャンネル保存                  | 10 |
| 6.7.チャンネルの削除                 | 10 |
| 6.8. CTCSS/DCSの受信/送信設定       | 11 |
| 6.9. 高速コピー 1チャンネル/周波数メーター    | 11 |
| 6.10.CTCSS/DCS自動検索           | 12 |
| 6.11.DTMF                    | 12 |
| 6.11.1 DTMF 通話               | 12 |
| 6.11.2 PTTID                 | 13 |
| 6.12.スキャン                    | 13 |
| 6.13.緊急警報                    | 14 |
| 6.14.FMラジオ                   | 15 |
| 6.15.緊急気象チャンネル受信             | 15 |
| 6.16.キーパッドのロック               | 15 |
| 6.17.リセット                    | 15 |
| 6.18.ワンキー通話チャネル              | 16 |
| 6.19.航空帯域受信                  | 16 |
| 6.20.無線無線レプリケーション            | 16 |
| 7.仕様                         | 17 |

## 付属品

ポータブル ラジオを慎重に開梱します。梱包材を捨てる前に、次の項目を確認することをお勧めします。

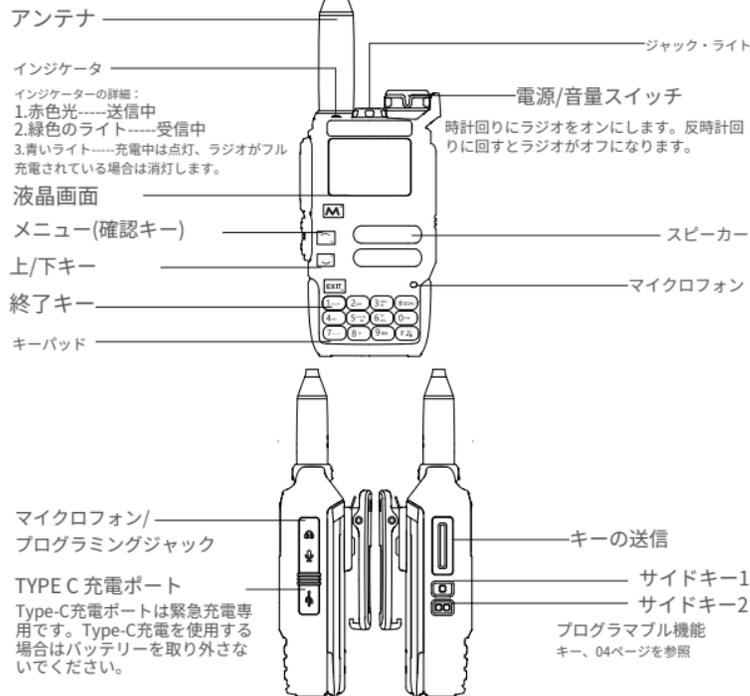
### 標準付属品

| アイテム       | 数量 |
|------------|----|
| トランシーバー本体  | 1  |
| アンテナ       | 1  |
| リチウムイオン電池  | 1  |
| 充電器        | 1  |
| ベルトクリップ    | 1  |
| ユーザーズマニュアル | 1  |

### アクセサリーの写真



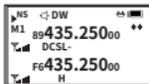
## 本体構造



**充電器で充電する場合、本体LEDは光りません。  
充電器のLEDが赤から緑に変わると充電完了です。**

## LCDディスプレイ

指定されたさまざまなシンボルをLCDで確認できます。次の表は、それらを理解するのに役立ちます。



|              |  |
|--------------|--|
|              | シグナル強度。グリッドの数が少ないほど、信号は弱くなります。   |
| <b>HML</b>   | 送信出力パワーインジケーター。<br>現在の送信出力は高(H)、中(M)、低(L)のいずれかです。  |
| <b>CTDCS</b> | 現在のコードが CTCSS コードの場合、CT が表示されます。現在のコードが DCS コードの場合、DCS が表示されます。                                    |
|              | 音声プロンプトがオンになっています。   |
| <b>N</b>     | 無線はナローバンドモードで動作します。  |
| <b>VOX</b>   | VOX機能。設定した音圧に達すると送信を開始します。この機能はメニューから設定できます。   |
| <b>+ -</b>   | + 送信周波数が受信周波数に周波数偏差を加えたものに等しいことを意味します<br>- 送信周波数が受信周波数から周波数偏差を引いたものに等しいことを意味します                    |
| <b>DTMF</b>  | DTMF 信号のデコードがオンになっています。  |
| <b>DW</b>    | 周波数デュアルウォッチがオンになっています。ディスプレイに表示される 2 つの周波数帯域をデュアルウォッチできます  |
|              | キーパッドのロック。   |
|              | 現在のバッテリーの表示。バッテリーがほぼ消耗すると、次のように表示されます。 [E]。これは、バッテリーを充電する必要があり、ラジオが低電力アラーム プロンプトを定期的に送信することを意味します。 |
|              | メインチャンネルを示します。PTT を押してセカンダリ チャンネルで通話を開始すると、すべての操作がメイン チャンネルで機能します。                                 |
| <b>SCR</b>   | このチャンネルの音声暗号化はオンになっています。   |
| <b>R</b>     | リバースモード。受信周波数と送信周波数を逆にする   |
|              | スキャン。◆スキャンリスト1に参加しています。◆◆スキャンリスト2に参加しています。   |
| <b>WX</b>    | クロスバンド受信/送信。   |
| <b>RX</b>    | 受信中。   |
| <b>TX</b>    | 送信中。   |
|              | Type-C充電マーク  |
| <b>AM</b>    | AM受信マーク  |
| <b>NS</b>    | NOAA チャンネル自動スキャン   |

## KEY

### PTTキー(送信キー)

- 送受信切替キー。「PTT」を押して送信し、マイクに向かって話します。「PTT」を放すと受信できます。

### プログラマブルファンクションキーとその機能

#### ● 初期間数

- サイドキー 1: 短く押すとモニター機能がオンになります。長押しすると1750Hzが点灯します。
- サイドキー 2: 短く押すとジャックライトが点灯します。長押しすると緊急警報が鳴ります。

プログラムソフトで設定できるサイドキーの機能：

|                  |  |
|------------------|--|
| 緊急モードオン/オフ       | 押すと緊急アラームがオンになります。プログラムソフトの設定通りにアラームを鳴らします。  |
| 高/低出力パワーの選択      | ユーザーが高/低出力電力を切り替えられるようにします。  |
| モニター             | ユーザーがモニター機能をオン/オフできるようにします。無線はすべての受信 CTCSS/DCS を無視し、実際のチャンネルを監視します。モニターノイズを聞いて音量を調整できます。 |
| FMラジオ            | FMラジオモードをオン/オフにします。  |
| スキャンのオン/オフ       | ユーザーがスキャン機能をオン/オフできるようにします。  |
| VOXオン/オフ         | ユーザーがVOX機能をオン/オフできるようにします。   |
| Transmitting1750 | 1750 連続送信をオンにします。  |
| ジャックライト          | ジャックライトをオン/オフにする   |

### テンキーのキー

#### ● メニュー/決定キー：MENU

- メインページで、短く押してメニューに入り、メニュー項目を選択し、MENU キーを押してパラメータを確認します。
- このキーを長押しして、最後の設定項目に入ります。
- DTMF 機能では、コードワードを意味します。

● 終了/クリアキー：EXIT

- A. 編集ステータスで、ボタンを短く押しして終了し、上部のメニューに移動します。長押しすると終了し、メインページに戻ります。  
 B. 入力ステータスで、これを押すと入力情報がクリアされます。  
 C. DTMF 機能では、D コードワードを意味します。

● Up (上) キー：▲

- A. 上に移動  
 B. DTMF機能ではBコードワードを意味します。

● Down (下) キー：▼

- A. 下に移動  
 B. DTMF 機能では、C コードワードを意味します。

● \*キー

- A. 短く押す \* キーを押して手動ダイヤルに入り、ページを呼び出します  
 B. DTMF 機能では、\* コードワードを意味します。  
 C. \* キーを長押しして、周波数またはチャンネルのスキャンを開始します。

● Fキー

- A. 0～9と\*を使用して、機能の切り替えを迅速に実装できます。  
 B. このキーを長押しして、キーボードをロックまたはロック解除します。  
 C. DTMFの下では、#コードワードを表します。

| ファストキー | 機能                 | 機能の説明             |
|--------|--------------------|-------------------|
| F+1    | BAND               | (F1-F7)周波数スイッチ    |
| F+2    | A/B                | メインチャンネルスイッチ      |
| F+3    | VFO/MR             | VFOモードとMRモードの切り替え |
| F+4    | Frequency Meter    | 1チャンネルの高速コピーを開始する |
| F+5    | NOAA Weather Alert | NOAAチャンネルの開始または終了 |
| F+6    | H/M/L              | スイッチ出力電力          |
| F+7    | VOX                | VOXに切り替える         |
| F+8    | R                  | リバース機能への切り替え      |
| F+9    | CALL               | ワンキー緊急通話に切り替える    |
| F+*    | SER                | CTCSS/DCS検索機能の開始  |
| F+0    | FM                 | FMの開始または終了        |

メニュー情報

メニューキーを押してメニュー選択に入ります。上/下キーを押してメニュー番号を選択し、MENUキーを押して選択を確認します。EXITキーを押して上部メニューに戻ります。EXITキーを長押ししてメインページに戻ります。

| 項目名    | No. | 機能の説明  | 値の範囲  |
|--------|-----|--|-------|
| SQL    | 1   | スケルチレベル  | 0-9   |
| STEP   | 2   | ステップ周波数 (2.5K/5K/6.25K/10K/12.5K/25K)                                | 0-5   |
| TXP    | 3   | 出力 (LOW/MID/HIGH)  | 0-2   |
| R_DCS  | 4   | DCSを受信します(OFF、1~104:DCS、105~208:リバースDCS)。F+*を短く押すと、DCSがスキャンを開始します。   | 0-208 |
| R_CTCS | 5   | CTCSSを受信します(OFF、1-50:CTCSS)。F+*を短く押して、CTCSSスキャンをトリガーします。             | 0-50  |
| T_DCS  | 6   | DCS送信(OFF、1~104:DCS、105~208:リバースDCS)                                 | 0-208 |
| T_CTCS | 7   | CTCSS送信(OFF、1-50:CTCSS)  | 0-50  |
| SFT-D  | 8   | 周波数偏差設定(OFF:送信周波数=受信周波数、ADD:送信周波数=受信周波数+周波数偏差、SUB:送信周波数=受信周波数-周波数偏差) | 0-2   |
| OFFSET | 9   | 周波数偏差の周波数 (0-999.9999M)  |       |
| W/N    | 10  | チャンネル帯域幅 (0:WIDE、1:NARROW)   | 0-1   |
| SCR    | 11  | 暗号化通信 (OFF、1-10:スクランブル周波数を1~10種類)                                    | 0-10  |
| BCL    | 12  | 話中チャンネルロック (OFF、ON)  | 0-1   |
| MEM-CH | 13  | チャンネル保存 (上下キーと数字キーでチャンネルを選択し、MENUキーを押してチャンネルを保存します。)                 |       |
| SAVE   | 14  | Battery Save (OFF/1:1/2/1:3/1:4) アクティブ時間とスリープ時間の比率。                  | 0-4   |
| VOX    | 15  | VOX設定(OFF:VOXをオフ、1-10:1~10段階)  | 0-10  |

## メニュー情報

| 項目名    | No. | 機能の説明  | 値の範囲 |
|--------|-----|--|------|
| ABR    | 16  | 自動バックライト(OFF: バックライトをオフにする; 1-5: 1～5秒後にバックライトをオフにする)                               | 0-5  |
| TDR    | 17  | デュアルウォッチのオン/オフ(OFF: 閉じる、CHAN_A: デフォルトの送信チャンネルはAチャンネル、CHAN_B: デフォルトの送信チャンネルはBチャンネル) | 0-2  |
| WX     | 18  | クロスバンド受信/送信 (OFF: 閉じる、CHAN_A: TX チャンネルはAチャンネル、CHAN_B: TXチャンネルはBチャンネルです。)           | 0-2  |
| BEEP   | 19  | BEEP制御(OFF、ON)   | 0-1  |
| TOT    | 20  | タイムアウトタイマー(1～10分)  | 1-10 |
| VOICE  | 21  | 音声プロンプト(OFF、CHI:中国語、ENG:英語)  | 0-2  |
| SC-REV | 22  | スキャン再開モード (TO: 5秒間の一時停止後にスキャンを再開、CO: 信号が消えた後にスキャンを再開、SE: 信号を受信した後、スキャンを停止します。)     | 0-2  |
| MDF    | 23  | チャンネル表示モード (FREQ: 周波数を表示、CH: チャンネル番号を表示、NAME: チャンネル名を表示)                           | 0-2  |
| AUTOLK | 24  | オートキーロック (OFF、ON)  | 0-1  |
| S-ADD1 | 25  | リスト1スキャンに参加するかどうか (OFF:不参加、ON:参加)  | 0-1  |
| S-ADD2 | 26  | リスト2スキャンに参加するかどうか (OFF:不参加、ON:参加)  | 0-1  |
| STE    | 27  | テールトーン除去 (OFF、ON)  | 0-1  |
| RP-STE | 28  | レピータテールトーン除去 (OFF、ON)  | 0-1  |
| MIC    | 29  | MIC感度 (0～4: 0～4レベル)  | 0-4  |
| 1-CALL | 30  | ワンキー通話チャンネル (上/下キーと数字キーを使用してチャンネルを選択します)   |      |
| S-LIST | 31  | チャンネルスキャンリスト選択 (LIST1:スキャンリスト1; LIST2:スキャンリスト2)                                    | 1-2  |

## メニュー情報

| 項目名    | No. | 機能の説明   | 値の範囲 |
|--------|-----|---|------|
| SLIST1 | 32  | チャンネルスキャンリスト1の設定  |      |
| SLIST2 | 33  | チャンネルスキャンリスト2の設定  |      |
| AL-MOD | 34  | アラームモード(SITE:ローカルアラーム、TONE:遠隔+ローカルアラーム)   | 0-1  |
| ANI-ID | 35  | ANI-ID、DTMF通信無線ID   |      |
| UPCODE | 36  | DTMF アップコード   |      |
| DWCODE | 37  | DTMF ダウンコード   |      |
| D-ST   | 38  | DTMFサイドトーンスイッチ (OFF、ON)   | 0-1  |
| D-RSP  | 39  | DTMF デコード応答 (NULL: クローズ、Ring: ローカル呼び出し、REPLY: 応答応答、両方: ローカル呼び出し + 応答)                                       | 0-3  |
| D-HOLD | 40  | DTMFオートリセット時間 (5秒～60秒)  | 5-60 |
| D-PRE  | 41  | DTMFプリロード時間(30～990ms)   | 3-99 |
| PTT-ID | 42  | DTMF PTT-ID TX モード (OFF: 閉じる、BOT: PTT を押して UP CODE を送信、EOT: PTT を放して DOWN CODE を送信、BOTH: PTT を押すか放して送信します。) | 0-3  |
| D-DCD  | 43  | DTMFデコード許可信号(OFF、ON)  | 0-1  |
| D-LIST | 44  | DTMF連絡先リスト(上下キーと数字キーで連絡先を選択し、MENUキーを押して連絡先を選択して直接電話をかけます。)  | 1-16 |
| PONMSG | 45  | 電源オン時の表示(FULL:全画面表示、MSG:ウェルカム情報、VOL:電圧。プログラムソフトにより変更可能)   | 0-2  |
| ROGER  | 46  | エンドトーク催促 (OFF: 催促なし、ROGER: 催促あり、MDC: カエル音デールトーン)  | 0-2  |
| VOL    | 47  | バッテリー電圧   | 0-1  |
| AM     | 48  | AMチャンネルモードオン/オフ(108-136MHzのみ使用)   | 0-1  |
| NOAA_S | 49  | NOAA チャンネル自動スキャンのオン/オフ  |      |
| DEL_CH | 50  | チャンネル削除 (上下キーと数字キーでチャンネルを選択し、MENUキーを押すとチャンネルを削除します。)  |      |
| RESET  | 51  | リセット (VFO: チャンネルパラメータの横のパラメータをリセット、ALL: すべてのパラメータをリセット)   | 0-1  |

## 共通操作紹介

### ◆ (6.1) パワーオンパスワード保護

- 「電源/音量スイッチ」を時計回りに回して、このラジオの電源を入れます。プログラムがパワーオンパスワード保護を設定している場合、画面には「LOCK」が表示されます。ユーザーは最初にパスワードを入力する必要があります。その後、ラジオは正常に使用できるようになりました。

### ◆ (6.2) メインチャンネルの切り替え

- F+2 キーを押してメインチャンネルを切り替えます。実線の  
▶ 矢印はメインチャンネルを指していました。
- PTT を押してメインチャンネルで送信を開始します。

### ◆ (6.3) デュアルバンド シングル - ウォッチ/デュアル - ウォッチ スイッチ

- デュアルウォッチ動作モードはメニューで設定できます。方法は次のとおりです。MENU  
→17→CHAN\_A: デフォルトの送信チャンネルはAチャンネル、またはCHAN\_B: デフォルトの送信チャンネルはBチャンネルです。画面には「DW」と表示されます。

### ◆ (6.4) 周波数/チャンネルモードスイッチ

- メイン ページで F+3 キーを押して、周波数モードとチャンネル モードを切り替えます。
- 周波数モード: このモードでは、ユーザーは RX 周波数を手動で入力できます。または、上/下キーを押して、ステップ周波数ごとに周波数を調整することもできます。パラメータはメニューによって変更されている可能性があります。このモードでは、ユーザーは TX 周波数を入力できませんでした。周波数またはオフセット周波数の方向を設定して、TX 周波数を変更できます。
- チャンネルモード: 実際のチャンネル番号を表示します。このモードでは、ユーザーは手動でチャンネル番号を入力できます。または、上/下キーを押してチャンネルを切り替えることもできます。パラメータはメニューから変更できます。

## 共通操作紹介

### ◆ (6.5) クロスバンド受信/送信

方法は次のとおりです: MENU→18→WX, MENU を押して設定に入ります。OFF: メイン チャンネル TX CHAN\_A または B が有効な通話を受信すると、そのチャンネルは通話が終了するまで自動的にメインチャンネルになります。CHAN\_A: どのチャンネルが有効な通話を受信するかに関係なく、デフォルトの TX チャンネルは A チャンネルで、「DW」の文字が表示されます。CHAN\_B: どのチャンネルが有効な通話を受信するかに関係なく、デフォルトの TX チャンネルは B チャンネルで、「DW」の文字が表示されます。

### ◆ (6.6) チャンネル保存

- MRモードではチャンネルセーブが可能です。現在のチャンネルを新しいチャンネルにコピーできます。
- VFOモードでは、RX周波数、周波数偏移方向、広帯域/狭帯域幅、RX/TX CTCSS/DCS、TX出力パワー、スキャンに参加するかどうか、DTMFコード、スクランブラーなどのパラメータを設定する必要があります。まず MENU→13→CH-001 を押し、次に MENU をもう一度押してチャンネル保存に入ります。上/下キーでチャンネルを選択します。または、数字キーを使用してチャンネル番号を入力することもできます。その後、もう一度 MENU キーを押すと、LCD に「SURE?」と表示されます。MENU キーを押してチャンネルを保存することもできます。
- 保存済みチャンネルを選択すると、CH-XXX と表示されていれば、チャンネルは保存されています。XXX と表示されている場合、チャンネルは空です。

### ◆ (6.7) チャンネル削除

- MENU→50→CH-XXX、 を押し、もう一度 MENU を押してチャンネル削除に入ります。上下キーで削除したいチャンネルを選択します。または、キーパッドを使用してチャンネル番号を入力することもできます。その後、もう一度 MENU キーを押すと、LCD に「SURE?」と表示されます。MENU キーを押すとチャンネルを削除できます。

## 共通操作紹介

### ◆ (6.8) CTCSS/DCS 受信/送信設定

プロセスフロー：

MENU→4→R-DCS MENUを押して入力し、上下キーでDCSリストから設定したいRX DCSコードを選択します。MENU→5→R-CTCSS MENUを押してCTCSSリストから設定したいRX CTCSSコードを上下キーで選択します。MENU→6→T-DCS MENUを押して入力し、DCSリストから設定したいTX DCSコードを上下キーで選択します。MENU→7→T-CTCSS MENUを押して入力し、CTCSSリストから設定したいTX CTCSSコードを上下キーで選択します。

- CTCSS/DCSは、受信時に不要なノイズ信号を除去するために使用されます。

### ◆ (6.9) 高速コピー 1チャンネル (周波数として動作) メーター (双方向無線および一部のその他のデバイス用)

- 高速コピーには強い信号が必要です。送信機と受信機の両方にアンテナを設置する必要があります。そして、それらの距離は遠すぎたはけません。
- F+4を押すと、受信機は周波数メーターインターフェイスに入ります。強い信号を受信すると、LCD画面に信号搬送周波数と送信チャンネル(CTCSSまたはDCS)が表示されます。\*キーを押して周波数を再測定します。
- 実効周波数の測定後、MENUキーを押して、現在測定されている周波数と指定したチャンネルへの送信CTCSS/DCSを保存します。
- 周波数測定中にEXITまたはPTTを押して周波数メーターを終了します。

## 共通操作紹介

### ◆ (6.10) CTCSS/DCS自動検索

- まず正しい受信周波数を設定し、F+\*を押してチャンネル検索を開始します。無線機が有効なCTCSS/DCS信号を受信すると、検索されたTX CTCSS/DCS信号が表示されます。MENUを押して、検索されたCTCSS/DCS信号を現在のチャンネルに保存します。
- 画面にSCAN CMPが表示された場合は、無線機が有効なCTCSS/DCS信号を検索し、自動検索を停止したことを意味します。
- 画面に「SCAN FAIL」と表示された場合は、無線機が有効なCTCSS/DCS信号を検索できなかったことを意味し、自動検索を停止します。

### ◆ (6.11) DTMF

#### ◇ (6.11-1) DTMF通話

- 手動ダイヤル: PTTとキーパッドの数字キーを押して電話をかけます。
- 自動通話: \*を押して、3桁の数字を入力し、PTTを短く押してDTMF通話を開始します。送信時に独自のID番号を自動送信します
- シングルコール: 相手のIDに自分のIDコードを加えたものを送信します。たとえば、123 \* 100。ID 100はID 123を呼び出します。
- グループ通話: ID番号内の1つ以上のコードワードの代わりにグループ通話コードを使用すると、通信グループを呼び出すことができます。グループ呼び出しコードはプログラムソフトウェアによって設定されます。たとえば、グループ通話コードを#,send 12#と設定すると、ID番号120～129の無線機を10台呼び出すことができ、send 1##と設定すると、ID番号100～199の無線機を100台呼び出すことができます。
- All call:send ### グループ通話TDは、すべてのユーザーが行うことができます。

## 共通操作紹介

### DTMF受信:

処理の流れ: MENU→43→DCD ONを押し、受信したコードワードがDTMF個人識別コードであれば解読成功し、リセット時間内に相手と通信できます。リセット時間になると、再デコードする必要があります。

- MENU→40→D-HOLD 5S オートリセット時間を設定します。初期値は5秒です。
- MENU→39→D-RSP DTMF着信後の自動応答を設定します。NULL: オフ、RING: ローカルリング。返信: 自動コールバック。両方: ローカル呼び出し+自動コールバック

### ◇ (6.11-2) PTTID

プログラムソフトウェアを通じてDTMFオンラインコードとオフラインコードを設定できます。オンラインコードとオフラインコードが有効になっている場合、この無線機はPTTを押すとオンラインコードを送信し、PTTを離すとオフラインコードを送信します。

### ◆ (6.12) スキャン

- 方法1: \*キーを長押ししてスキャンを開始またはスキャンを終了します ● 方法2: サイドキーをスキャン開始/終了スイッチとして設定する
- 周波数スキャン: スキャンプロセス中に、上/下キーを使用してスキャン方向を変更できます。PTT キーまたは終了キーを押してスキャンを終了するか、\*キーを長押ししてスキャンを終了します。
- チャンネル スキャン: スキャンが開始されると、スキャン リスト内のチャンネルが順番に検出されます。また、スキャンプロセス中に、PTT キーで着信に回答することもできます。

## 共通操作紹介

- MENU→31→S-List LIST1 または LIST2 を押して指定したチャンネルリストをスキャンします。
- MENU→32→SLIST1 を押して、LIST1 にリストされているチャンネルを表示します。
- MENU→33→SLIST2 を押して、LIST2 にリストされているチャンネルを表示します。
- MENU→25→S-ADD1 を押して、現在のチャンネルをスキャン LIST1 に追加します。
- MENU→26→S-ADD2 を押して、現在のチャンネルをスキャン LIST2 に追加します。
- MENU→22→SC-REV を押してスキャン モードを選択します。
- Priority Scanning: 優先スキャンチャンネルを指定できます。スキャン プロセス中、スキャンの50%は優先度1のメンバーに割り当てられます。優先度2のメンバーがいる場合、優先度1のメンバーのスキャン率は50%から25%に低下します。スキャンが非優先チャンネルまたは優先度2メンバーにある場合でも、無線はメンバーのアクティビティをスキャンし続けます。優先1のメンバー。無線機が優先順位1のメンバーのアクティビティを検出すると、現在の送信を停止し、優先順位1のメンバーに電話します。

### ◆ (6.13) 緊急警報

- 緊急アラームは緊急事態を表すために使用されます。緊急通話はいつでも、どの画面でも開始できます。また、現在のチャンネルにアクティビティがある場合でも、緊急通話を開始できます。ユーザーはソフトウェアをプログラミングして、このラジオに緊急警報ボタンを設定する必要があります。
- 緊急警報キーを押すと、ローカルの可聴警報とリモート警報の送信が開始されます。アラームの種類はローカルアラーム/リモートアラームとして設定できます。
- いずれかのキーでアラームモードを終了します。
- プロセス: MENU→34→AL-MOD TONE を押すと、このラジオはアラーム音を鳴らし、リモートアラーム信号を送信します。
- 手順: MENU→34→AL-MOD SITE を押すと、このラジオがアラーム音を鳴らします。

## 共通操作紹介

### ◆(6.14)FMラジオ

- F+0 を押して FM ラジオ モードに入り、上/下キーを押して周波数または事前に保存された FM チャンネルを変更します。また、キーボードを使用して FM 周波数または事前に保存された FM チャンネルを入力することもできます。
- F+1 を押して、VFO モードと MR モードを切り替えます。
- F+2 を押すと、FM ラジオ チャンネルの自動検索プロセスが開始されます。このプロセスでは、検索された FM チャンネルが自動的に保存されます。最大 20 の FM チャンネルを保存できます。
- F+3 を押して、手動 FM チャンネル検索プロセスを開始します。このプロセスでは、ユーザーは検索した FM チャンネルを手動で保存する必要があります。
- メニューキーは FM チャンネルを保存するために使用します。
- 終了キーは、FM チャンネル検索プロセスを終了するために使用します。
- 上下キーでスキャン方向を切り替えます。
- FM モードでは、ラジオが有効な通話を受信するか、PTT を押して通話を開始すると、FM モードが一時的に終了して通信状態になります。インターホン終了後は FM ラジオ状態に戻ります。
- EXIT キーまたは F+0 キーを押して FM モードを終了します。

### ◆(6.15)緊急気象チャンネル受信

- NOAA Weather Alert を開始または終了するには、F+5 を押します。
- この無線機は 10 個の NOAA チャンネルを受信できます。
- このモードはメニュー 49 NOAA\_S を通じて設定できます。

### ◆(6.16) キーパッドのロック

- # キーを長押しすると、キーボードのすべてのキーがロックまたはロック解除されます。サイドキーはキーパッドロック中に通常通り使用できました。

### ◆(6.17)リセット

- 手順: MENU→51→RESET を押します。
- VFO: すべてのストレージチャンネルを予約します。

## 共通操作紹介

- ALL: ストレージチャンネルを含むすべてのパラメーターをリセットします。
- LCD に「Sure?」と表示され、MENU キーを押してラジオが再起動するまで待ちます。ラジオのすべてのメニューが工場出荷時の初期値に戻ります。

### ◆(6.18)ワンキーコールチャンネル

- F+9 はすぐに 1 つのコールチャンネルにジャンプし、MENU→30→1-call で重要なチャンネルを 1 つのコールチャンネルに設定できます。

### ◆(6.19)航空無線受信

- 受信周波数を入力します。現地の航空無線周波数が不明な場合、スキャン機能は 108 ~ 136 の全周波数帯域をスキャンできます。
- MENU→48→AM ON チャンネル変調方式を AM に設定し、航空無線を聞きます。
- MENU→48→AM OFF でチャンネル変調方式を FM に設定します。
- MENU 48 の設定は、108 ~ 136 の周波数帯域でのみ有効です。

### ◆(6.20)無線レプリケーション

- PTT + サイド キー 2 を押したままにして、ワイヤレス無線レプリケーション インターフェイスに入ります。LCD に Air Copy (RDY) が表示されます。送信側無線機と受信側無線機の両方で、デジタル キーボードを使用して無線複製の周波数を設定できます。無線の送信と受信の周波数は一貫している必要があります。デフォルトの送受信周波数は 410.0125MHz です。

- 受信無線機の EXIT キーを押して受信モードに入り、LCD に Air Copy が表示されます。送信無線機の MENU キーを押して周波数データの送信を開始します。LCD に Air Copy が表示されます。
- コピー処理中、LCD にはコピーの進行状況 RCV:XX E:XX が表示されます。E:XX はコピーデータのエラー数を示します。コピーが完了すると、送信機には SND: 120 が表示されます。

## 仕様

### 一般仕様

|              |                                    |
|--------------|------------------------------------|
| メモリチャンネル：    | 200                                |
| FMラジオチャンネル数： | 20                                 |
| NOAAチャンネル：   | 10                                 |
| 周波数安定性：      | ±1ppm                              |
| 変調モード：       | FM:11KΦF3E(12.5KHz)、16KΦF3E(25KHz) |
| 寸法：          | 115mmX60mmX37.5mm                  |
| 重量：          | 234g                               |
| 動作温度：        | -20°C+60°C                         |
| アンテナインピーダンス： | 50Ω                                |

### 受信中

|                   |                  |         |
|-------------------|------------------|---------|
| 感度：FM(12dB SINAD) | F1(50~76)        | -121dBm |
|                   | F2(108~135.9975) | -121dBm |
|                   | F3(136~173.9975) | -123dBm |
|                   | F4(174~349.9975) | -123dBm |
|                   | F5(350~399.9975) | -123dBm |
| WFM(20dB SINAD)   | F6(400~469.9975) | -123dBm |
|                   | F7(470~599.9975) | -121dBm |
| AM(10dB S/N)      | F7(470~599.9975) | -110dBm |
| オーディオ周波数：≥0.5W    | WFM(76~108)      | -110dBm |
| 音声の歪み：≤10%        | F2(108~135.9975) | -113dBm |

## 仕様

### 送信中

|                         |                       |                  |
|-------------------------|-----------------------|------------------|
| ●FCCバージョン送信バンド          | 周波数：UHF420~450MHz     | VHF144~148MHz    |
| ●CE版送信帯域                | 周波数：UHF430~440MHz     | VHF144~146MHz    |
| ●ノーマルバージョンの送信バンド        | 周波数：UHF400~470MHz     | VHF136~174MHz    |
|                         | UHF350~400MHz         |                  |
|                         | 出力電力：≤5W              | ≤5W              |
|                         | 消費電流：≤1.5A            | ≤1.5A            |
|                         | 最大周波数偏差：≤5KHz(25KHz)、 | ≤5KHz(25KHz)、    |
|                         | ≤2.5KHz(12.5KHz)      | ≤2.5KHz(12.5KHz) |
|                         | 変調歪み：≤5%              | ≤5%              |
|                         | 漂遊電力：≤7.5uW           | ≤7.5μW           |
| 隣接チャンネルパワー：70dB(25KHz)、 | 60dB(12.5KHz)         | 70dB(25KHz)、     |
|                         |                       | 60dB(12.5KHz)    |
| 残留変調：40dB               |                       | 40dB             |

記載されているすべての仕様は、通知または義務なく変更される場合があります。